

# 戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌 (12)

— 実業教科書株式会社の『高校教育』誌 (V) —

丸 山 剛 史  
尾 高 進

Journal Published by Textbook Publisher  
under Educational Reform after World War II (12)

MARUYAMA Tsuyoshi, ODAKA Susumu

本報は前報までに続き、戦後改革期に実業教科書株式会社（1950年8月、実教出版株式会社に改称）から刊行された教育雑誌『高校教育』の内容的特徴及び第二次大戦後の教育雑誌の歴史における位置づけに関して検討しようとするものである<sup>1</sup>。本報では、「編修後記」を主な手がかりとし『高校教育』誌の内容的特徴に関して検討する。なお、「編修後記」が掲載された期間は限定されており、復刊後の1953年3月発行第5巻第3号から1958年3月発行第10巻第3号までである。したがって、今回の検討も時期的に限定されたものであることを予めお断りしておく。なお、目次集は紙幅の関係により、第15巻（1963年）から第17巻（65年）までの目次を収録した。

前報でも記したように、『高校教育』誌は1952年5月に復刊を果たした際、「今回は、カミシモを着ずに、自由な編集をすることにしました」、「どんな問題でも結構ですから、どんなたも、自分たちが編集するというお考えの下に、御意見をお寄せくださることを切にお願いいたします」と記した<sup>2</sup>。そして、同年6月発行の第4巻第2号には以下のように記し、投稿を歓迎することが明記された<sup>3</sup>。

<sup>1</sup> 丸山剛史・尾高進「戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌 (11) — 実業教科書株式会社の『高校教育』誌 (IV) —」『工学院大学共通課程論叢』第49巻第2号、2012年、61-71ページ。

<sup>2</sup> 水谷三郎「復刊のことば」『高校教育』第4巻第1号、1952年、1ページ。

<sup>3</sup> 「投稿歓迎」『高校教育』第4巻第2号、1952年

「＜投稿歓迎＞先生方に誌面を全面的に提供いたしますから、御芳名・奉職校名を御明記のうえ編修部高校教育係あてに奮って御投稿下さい。題材は全く自由です。／掲載分には謝礼を差し上げます。／但し、四百字詰原稿用紙で十五枚以内のこと」

ところが、投稿は国語科や社会科の教師からの投稿が「大部分」であったとされ、他教科の教師からの投稿を求めることが以下のように記された<sup>4</sup>。

「先生方の発表機関誌として発足して以来、毎号真勢な御投稿を賜り、誠に感謝に耐えません。／今までの御投稿をみますと、国語科・社会科の先生方が大部分ですが、他科御担当の諸先生方も奮って御投稿下さい。…」

第5巻第9号（1953年10月）からは従来よりもスペースを割いて「原稿募集」の囲み記事が掲載されるようになった。募集内容は以下の通りである<sup>5</sup>。

【内容】○教科書（他社・小社のものを問いません）に対する具体的な批評・感想／○現場教官としてのルポルタージュ／○研究成果の簡単な発表／○教育課程の改正に対する具体的な意見／○ローカルなニュース（産業と地誌的資料）／○地方の風俗習慣や高校生の生態の考現学。なるべく絵で（ペンまたは毛筆、墨一色）／○ユーモアに富んだ随筆・紀行文など／○とくに、理数科・保健体育担当先生方の御投稿を望みます／○原稿に鮮明な写真や挿画がついていますと、なお結構です／○抽象的な意見には具体的な例証を添えてください

【分量】三〇〇〇字以内、ただし理数科のものに限り四五〇〇字まで

【その他】○掲載分には薄謝ですが、稿料をお払いいたします／○編修部で添削する場合がありますから、予め御承知おきください／○整理上、原稿はお返しいたしません」

第6巻第1号（1954年1月）には、新たに「質疑欄」を設けることが記された<sup>6</sup>。

「質疑欄を設けます／教育関係法規、学習指導法、参考書の発行所・定価・内容など、教育用語、教授資料等の解説。範囲・長短を問いません。但し氏名・御勤務校を明記しておいてください（紙上匿名随意）。解答・解説は関係当局・学者・専門家を煩わして紙上でお答え致します。」

第6巻第7号（1954年8月）の「原稿募集」では、従来の募集内容に新たに「一、三〇〇字程度の掌篇小说」が加えられた。

第6巻第9号（1954年10月）の「編集後記」では、従来実教出版社の編集部員や業務部が担当していた「高校評判記」を、読者に執筆してもらいたいという希望が述べられた<sup>7</sup>。

「…そこで先生方をお願いしたいのは毎号掲載の『高校評判記』についてである▼この記事は地方へ出張した編集部員や業務部のレポートであるが▼こういう方法では範囲が限られて優れた校風や輝かしい伝統を持ちながらヘキサウの地にあるばかりに紹介の機会のないも

<sup>4</sup> 「原稿募集」『高校教育』第5巻第3号、1953年

<sup>5</sup> 「原稿募集」『高校教育』第5巻第9号、1953年

<sup>6</sup> 「質疑欄を設けます」『高校教育』第6巻第1号、1954年

<sup>7</sup> 「編集後記」『高校教育』第6巻第9号、1954年

のが多い▼御寄稿のたのみついでに先生方に『高校評判記』をやっていただきたい▼と言っても自分の学校のことは書きにくからうしヒイキのひきたおしになったり手前みそになりがちとの御心配もあろうから他校の評判記ということにしたい▼この方が教科書の編集者や業務部員の書く評判記よりはよほど面白ろからう▼是非具体的なレポをおねがいしたいと願う次第である」

これ以後（少なくとも筆者らが現在までに確認できた第18巻までは）、原稿募集の内容は大きく変化していないと思われ、1954年半ば頃までに編集後記・原稿募集記事と読者・投稿者との交流のなかから誌面構成の基本的な骨格が形成されたものと思われる。また、当初は誌面を全面的に読者に提供するとも記されていたが、「実教出版社のPR誌」<sup>8</sup>としての性格もあり、必ずしも全面的に誌面が投稿者の原稿で構成されていたわけではないことは留意しておきたい。（次号に続く）

付記：解説は丸山が執筆し、尾高と協議の上、丸山が修正を施した。目次集作成は第15、16巻を丸山、第17巻を尾高が担当した。

---

<sup>8</sup> 「編集後記」『高校教育』第7巻第11号、1955年、32ページ。

## 資料.『高校教育』誌目次集(1963-1965年)

- ・本目次集を作成するにあたっては、編者(丸山)が所蔵機関に出向き資料の所在を確認した。
- ・所蔵機関名を巻号・発行年月右横のカッコ内に記した。
- ・執筆者名右横のカッコ内の数字はページ数を表す。

## 第15巻第1号:1963年1月1日

(愛媛大学附属図書館)

改訂高校進路指導と現場実践	青田賢治 (1)
愛工名物体育祭	県立愛知工業高等学校 (29)
フロリダからの便り	橋本宏 (24)
終身雇用と年功序列賃金の問題	横田弘之 (6)
出雲先生と演劇クラブの連中	中村菊一 (22)
今年も豊年	橋本英一 (8)
家庭科調査のあり方	前川当子 (12)
考える教育を	勝野勲 (18)
ほそいがらす	宮崎登志子 (18)
出世	松永栄一 (19)
樹木園について	秋野大樹 (20)
高校評判記	打越賢郎 (5)
教科書談義	水谷三郎 (16)
実教歌壇	宮柊二選 (15)
実教俳壇	石田波郷選 (28)

## 第15巻第2号:1963年2月1日

(愛媛大学附属図書館)

近世柏崎における私塾	打越賢郎 (1)
玉川温室村の地理	小林高寿 (19)
転身	高桑純夫 (6)
名苑拝見	中村阿岐雄 (14)
奇蹟	一之瀬尚 (15)
試験天国	糟谷奨 (16)
学校図書館の現実的課題	獅子原正 (16)
易	五十嵐登 (17)
高校評判記	中野忠 (13)
教科書談義	水谷三郎 (10)
実教歌壇	宮柊二選 (12)
実教俳壇	石田波郷選 (18)
数学科特集	
数学教育の近代化と新指導要領	福原満洲雄 (24)
応用数学について	斎藤力 (29)
数学的概念の哲学的背景	秋谷照之助 (43)
その流域に花ありき	早崎準一郎 (44)

## 第15巻第3号:1963年3月1日

(愛媛大学附属図書館)

教育のマスプロ化とその問題	萱沼素 (1)
古琵琶「竹生島」	西川瑞国 (6)
平曲採録余話	松沢聡 (6)

その流域に花ありき	早崎準一郎 (29)
人事異動と全定交流について	帖佐満 (10)
沖縄における教育の現状と諸問題	大湾勇 (5)
家庭科教育と被服材料	内田豊作 (16)
家庭科「住居」の指導について	中原暢子 (22)
教師の劣等感	佐藤貢 (26)
ガムとたばこ	萩原弘毅 (27)
受験シーズンに思う	林一美 (28)
教科書談義	水谷三郎 (14)
実教歌壇	宮柊二選 (13)
実教俳壇	石田波郷選 (21)

## 第15巻第4号:1963年4月1日

(愛媛大学附属図書館)

弁慶の非實在説について	木村晟 (1)
シャイロックと平蜘蛛の釜	志田信男 (4)
新しく国語教師となられる K 君へのたより	
	森田定治 (12)
出雲先生と下宿	中村菊一 (8)
新入生に寄せる	獅子原正 (6)
高校評判記	森田明 (7)
実教歌壇	宮柊二選 (10)
実教俳壇	石田波郷選 (11)
理科特集	
座談会 これからの理科教育	
井上清恒・大森昌衛・白井俊明・林淳一	(1)
展示実験と奇術	白井俊明 (14)
自動車随想	近藤正夫 (20)
トロロ談義	今井功 (32)
PSSC と日本の高校物理教育	小島昌夫 (11)
新しい化学実験について	中西啓二 (24)
化学用語よもやま話	野村祐次郎 (27)
“現代化”ということ	林淳一 (18)
中学理科と高校理科化学の関連	志賀義雄 (30)

## 第15巻第5号:1963年5月1日

(愛媛大学附属図書館)

死刑制度について	鈴木英吉 (1)
続 夜間工業高校教師生活	関口充 (30)
高校三年生	吉羽一夫 (26)
先生は“良”です	清水希益 (16)
「莫囂圖隣之大相七兄爪湯氣」新訓	窪田薫 (4)
生物季節と農作業	坂本勝三 (6)

ゲータ関数	井川治男 (9)	自動車ブーム	須藤万治 (24)
試験天国・地獄に思うことあり	小林文瑞 (12)	おしゃべりとユーモア	伴一幸 (25)
世はまさに無責任時代	小島勲 (20)	教科書談義	水谷三郎 (10)
数学の教科書	黒田寿郎 (20)	実教歌壇	宮柊二選 (12)
実業高校と進学	青木杜陵 (21)	実教俳壇	石田波郷選 (13)
放屁処罰事件	伊東典郎 (22)		
世界史の脱線	加畑一夫 (23)	第 15 巻第 8 号：1963 年 8 月 1 日	
螢の光・窓の雪	草野明 (24)	(愛媛大学附属図書館)	
病気と騒音	平井仙一 (25)	教師の生き甲斐	長嶋恒義 (1)
春のリズム	小林星陵 (7)	WCS	山田修 (28)
教科書談義	水谷三郎 (14)	大学における浪人入学者の現状	村井蕃 (12)
高校評判記	唐木健作 (10)	求人決定者その後の指導例	鶴田彦夫 (18)
実教歌壇	宮柊二選 (11)	倫理学の学習指導	中尾正三 (4)
実教俳壇	石田波郷選 (19)	苦悶する農業高校教員	M・M 生 (8)
		ございます考	加藤富一 (24)
第 15 巻第 6 号：1963 年 6 月 1 日		妙な専門意識	井口祐夫 (24)
(愛媛大学附属図書館)		目のうろこを落とせ	若林芳樹 (26)
「高等学校学習指導要領 (国語編)」および解説について		修学旅行つきそわれ記	阿部祖海 (27)
	岡田貞義 (1)	経ヶ峰	稲垣八 (23)
量感とその父以南のことなど	小林星陵 (3)	漁村で	高見雁 (8)
香炉峰の雪	石田穰二 (8)	逝く友	上野卓誠 (9)
近代・現代文学への関心	小田切進 (14)	教科書談義	水谷三郎 (10)
何ヲカ羨マンヤ	山井湧 (18)	実教歌壇	宮柊二選 (7)
食生活と食品添加物	山本正夫 (17)	実教俳壇	石田波郷選 (17)
実教歌壇	宮柊二選 (7)		
実教俳壇	石田波郷選 (13)	第 15 巻第 9 号：1963 年 9 月 1 日	
社会科特集		(愛媛大学附属図書館)	
「倫理・社会」と思想史	務台理作 (32)	産業高校での選戰指導	谷桜夫 (1)
新しい教科書を見ながら	南博 (20)	WCS	山田修 (28)
貴族の革命	金沢誠 (24)	倫理学の学習指導	中尾正三 (5)
二人の女王の運命	前嶋信次 (40)	白山国立公園の地理	小林高樹 (14)
19 世紀ヨーロッパの資本主義的進化について		塩の化学当量について	青柳忠克 (19)
	桂圭男 (44)	手首がかゆい	長坂孝吉 (10)
大化前代の地方制度	直木孝次郎 (28)	鶏卵と牛肉	宇田川徳之助 (23)
文化史と生活史	時野谷勝 (30)	高校生とズボン	菊島晴夫 (24)
		心の花束	印田義保 (24)
第 15 巻第 7 号：1963 年 7 月 1 日		学力雑感	中野忠 (26)
(愛媛大学附属図書館)		新参一年	大貫徹也 (27)
実務的教育の構想	糟谷奨 (1)	教科書談義	水谷三郎 (12)
WCS	山田修 (28)	実教歌壇	宮柊二選 (9)
教師の苦悩	渋谷計二 (14)	実教俳壇	石田波郷選 (18)
日本史教育と愛国心	菱刈隆永 (6)		
人事移動の問題点	藤塚知成 (8)	第 15 巻第 10 号：1963 年 10 月 1 日	
会津の観光	山口利助 (18)	(愛媛大学附属図書館)	
白い封筒	中村菊一 (26)	教育実習生を指導して	片山巍 (1)
本と兵隊	岩坪巖 (20)	WCS	山田修 (30)
教師とバイク	小林二三雄 (21)	生徒による発表授業について	KK 生 (20)
送別会	大川正晃 (22)	高校物理教育のあり方について	野上茂吉郎 (16)
中年教師のくりごと	桑水流光大 (23)	藤村とフランス語	松本守 (6)

地理教育の方向	高橋昭 (8)	山田昭全 (1)
若き世代に期待する	獅子原正 (10)	教科書談義 水谷三郎 (4)
「ゲータ関数」についての疑問	石津稔丈 (25)	実教歌壇 宮柊二選 (6)
実教歌壇の興隆のために	桑水流三四郎 (13)	実教俳壇 石田波郷選 (7)
マスコミに流されるな	友定節 (26)	世田谷ボロ市の歴史地理 星陵野人 (8)
生活指導	勝野勲 (26)	●数学科特集
定時制教育	大塚正文 (27)	数学研究の新体制 福原満洲雄 (1)
盲蛇におじず	山崎一雄 (28)	未完の論文 斉藤利弥 (4)
教科書談義	水谷三郎 (14)	高校数学教育の現代化 井上正雄 (8)
実教歌壇	宮柊二選 (12)	入学試験の模型 鈴木七緒 (14)
実教俳壇	石田波郷選 (24)	集合論をめぐる 木村俊房 (17)
		高校数学の学習の場 原隆 (22)
		西ドイツの数学教科書 編修部 (29)

第15巻第11号：1963年11月1日

(愛媛大学附属図書館)

女子高校生の大学進学について	伴一幸 (1)
私の見た香港	井上清 (14)
高校三年生	吉羽一夫 (28)
HE IS NOT WHAT HE WAS	水谷清 (20)
生徒の手による教室づくり	清水勝太郎 (6)
定時制の学力	中川勝義 (8)
“ながら”とBGM	湖城重仁 (10)
まんじゅうとうどんと…	戸枝徹男 (24)
採点アラベスク	山口新夫 (25)
アルバイトに思う	栗田収 (27)
ある風景	高橋健 (5)
実教歌壇	宮柊二選 (13)
実教俳壇	石田波郷選 (19)

第15巻第12号：1963年12月1日

(愛媛大学附属図書館)

高校教育の新しい方向	横田弘之 (1)
十二支による時刻表現	橋本圭子 (4)
国語指導における図解法の利用について	山田昭全 (8)
私の見た香港	井上清 (20)
能研テストの問題点と私見	古田薫 (12)
伊勢物語についての覚書	竹林俊浩 (16)
修学旅行雑感	中邨秋樹 (30)
つり道余談	矢野忠雄 (26)
この声を	横田英男 (27)
女子高校生とテレビ番組	大柴恒 (28)
思い出	上野明達 (29)
教科書談義	水谷三郎 (14)
実教歌壇	宮柊二選 (11)
実教俳壇	石田波郷選 (19)

第16巻第1号：1964年1月1日

(愛媛大学附属図書館)

国語指導における図解法の利用について

第16巻第2号：1964年2月1日

(愛媛大学附属図書館)

倫・社の教科書にみる愛国心	富水慶一 (1)
国語指導における図解法の利用について	山田昭全 (4)
	西山民雄 (10)
雨の朝に思う	高木白 (10)
PTA 雑話	八村伸一 (12)
教師への注文	江部忠夫 (12)
髪のなやみ	水谷三郎 (8)
教科書談義	宮柊二選 (7)
実教歌壇	石田波郷選 (14)
実教俳壇	
●家庭科特集	
家計の動揺	氏家寿子 (15)
住居学からみた家政学の性格	小泉正太郎 (20)
食生活と米	谷達雄 (26)
化学調味料の発達に思う	亘理ナミ (30)
不織布のはなし	石毛フミ子 (32)
家庭教育と性格形成	児玉省 (36)

第16巻第3号：1964年3月1日

(愛媛大学附属図書館)

国語指導における図解法の利用について	山田昭全 (1)
アメリカの高校における経済教育	矢島鈞次 (4)
高校生の悩み	海野邦彦 (8)
高校三年生	吉羽一夫 (29)
西ドイツの数学教科書	編修部 (27)
わが研究授業白書	小林文瑞 (12)
にわとり談義	藤井清 (18)
旅	山田晃 (19)
実習の記録	志田俊 (19)
自習書の効用	網野弘 (20)
答案雑記	大中一郎 (21)
教科書談義	水谷三郎 (16)

実教歌壇 宮柊二 (15)  
 実教俳壇 石田波郷 (28)

第 16 巻第 4 号：1964 年 4 月 1 日

(愛媛大学附属図書館)

高校教育の諸問題 谷萩操 (1)  
 西ドイツの数学教科書 編修部 (13)  
 アメリカ便り 青柳忠克 (4)  
 高校生と西洋文学 松本守 (7)  
 実教歌壇 宮柊二選 (6)  
 実教俳壇 石田波郷選 (14)

●国語科特集

上田秋成をめぐるエピソード 鶴月洋 (15)  
 土佐日記冒頭の異文について 清水義秋 (20)  
 国語指導における図解法の利用について 山田昭全 (24)  
 孔子の話し方 市川安司 (28)  
 漢文教育の諸問題 荒城孝臣 (32)  
 教師の楽書き 長野菅一 (36)

第 16 巻第 5 号：1964 年 5 月 1 日

(愛媛大学附属図書館)

ホームルームの運営 児玉輝之 (1)  
 能研テストと入試改善 其井澄 (6)  
 問題をみつける 相原健助 (5)  
 生徒今昔気質 小寺平吉 (9)  
 実教歌壇 宮柊二選 (4)  
 実教俳壇 石田波郷選 (8)

●理科特集

高校における物理と化学の境界領域をどのように

扱ったらよいか (1)  
 物理教育国際会議に出席して 橘高重義 (12)  
 酸化・還元 白井俊明 (15)  
 化学 A・化学 B についての質問と回答 編修部 (16)  
 完全な気体発生・捕集法 中西啓二 (20)  
 日本とアメリカの生物教育 小滝一夫 (21)  
 教科書「生物」について 井上清恒 (24)  
 「地学」教科書を編修して 大森昌衛 (26)  
 気候の寒冷化 根本順吉 (29)  
 天文周期の体系 島村福太郎 (30)

第 16 巻第 6 号：1964 年 6 月 1 日

(愛媛大学附属図書館)

問題生の出生の地位について 小倉正一 (1)  
 高校生の非行問題 横田弘之 (6)  
 「地理教育の方向」への再考 須藤万治 (9)  
 教科書談義 水谷三郎 (4)  
 実教歌壇 宮柊二選 (10)

実教俳壇 石田波郷選 (11)

●社会科特集

日本史の時代区分論争と世界史の時代区分法

像川一朗 (12)  
 部落差別と人権について 原田伴彦 (18)  
 地理教材の参考として 池田正友 (22)  
 地理教育雑感 黒崎千晴 (25)  
 現代史学習へのとりくみを 片山誠二郎 (28)  
 日清戦争の評価について 藤原彰 (32)  
 最賃制をめぐる最近の動向 吉村励 (35)

第 16 巻第 7 号：1964 年 7 月 1 日

(愛媛大学附属図書館)

戦後国際政治の取扱いについて 鈴木英吉 (1)  
 夜間工業高校教師生活 関口充 (4)  
 テレビのお笑い番組 高橋昭 (28)  
 西ドイツの数学教科書 編修部 (21)  
 本は四角 巢山信司 (8)  
 農業土木教師の私見 松田宏 (10)  
 現代史学習へのとりくみを 片山誠二郎 (12)  
 土帰月来の功罪 北村貴幸 (22)  
 こぶしの花 大江正徳 (22)  
 男女共学 星一彰 (23)  
 質屋はひちやかしちやか 伊東典郎 (24)  
 バスの歌声 笹川志津江 (26)  
 歩くことを考えよう 富岡一郎 (27)  
 実教歌壇 宮柊二選 (7)  
 実教俳壇 石田波郷選 (16)

第 16 巻第 8 号：1964 年 8 月 1 日

(国立国会図書館)

「高校教育の諸問題」に続けて 出沢万紀人 (1)  
 高校卒業者の就職 村井蕃 (4)  
 定時制高校生の人間像 藤井清 (29)  
 その後の WCS 山田修 (26)  
 学年の性格 奥山隆夫 (10)  
 現代史学習へのとりくみを 片山誠二郎 (14)  
 十円のラジオ 田村孝 (18)  
 待望の全日制 及川量進 (18)  
 衆議院議員定数の増加に思う 森本修司 (19)  
 人のいのち 菊島晴夫 (20)  
 遅れている学校教育近代化 水沢稔 (21)  
 新聞少年の死 川向正峰 (23)  
 文字 岡田貞義 (25)  
 教科書談義 水谷三郎 (12)  
 実教歌壇 宮柊二選 (9)  
 実教俳壇 石田波郷選 (24)

## 第16巻第9号：1964年9月1日

(愛媛大学附属図書館)

- 「書くこと」をとり入れた学習指導法 伴一幸 (1)  
 共学制度の再検討 片山巍 (29)  
 パナマ運河 前田和夫 (25)  
 アジア政経学会関西支部会に出席して

- 島谷正亮 (12)  
 私本教科書談義 中村阿岐雄 (4)  
 高校の父兄会を改造しよう 八村伸一 (6)  
 埋蔵金余聞 小林二三雄 (8)  
 工業高校の数学教師 黒田寿郎 (4)  
 聞き合わせ 坂本徳二 (17)  
 東洋と西洋 加畑一夫 (17)  
 味覚の秋 相原健助 (18)  
 下宿一年生 阿部祖海 (20)  
 十代の温度 森田有義 (21)  
 宿直 江部忠夫 (22)  
 読書と顔と 林一美 (23)  
 分校の思い出 宮田三喜 (23)  
 教科書談義 水谷三郎 (10)  
 実教歌壇 宮柊二選 (15)  
 実教俳壇 石田波郷選 (16)

## 第16巻第10号：1964年10月1日

(国立国会図書館)

- 高校生の非行化と生活指導 水沢稔 (1)  
 魔法の言葉—それは働くこと 蔦谷茂夫 (4)  
 斉明天皇の建王挽歌 窪田薫 (8)  
 「さかい」の話 青柳忠克 (16)  
 産業排水と漁業 山本正夫 (29)  
 住みよい農村を築くために 桑水流三三四郎 (30)  
 インダス文明の終末とアリア人の侵入

- 板倉勝正 (12)  
 信頼される教師に 友定節 (20)  
 せみとり 萩原弘毅 (20)  
 解釈の仕方 井口祐夫 (21)  
 勇敢なNさん 一之瀬尚 (22)  
 対セールスマン余話 山口新也 (23)  
 愚教師の記 君島渡 (24)  
 近郊農家の担い手 兼杉博 (25)  
 学級日誌 滑川西之助 (26)  
 教科書談義 水谷三郎 (10)  
 実教歌壇 宮柊二選 (15)  
 実教俳壇 石田波郷選 (19)

## 第16巻第11号：1964年11月1日

(愛媛大学附属図書館)

- ある私立女子高校の実態調査 若林芳樹 (16)  
 定時制高校生の生活 畠山忠史 (19)

- 農業高校の管理運営はこれでよいか 芝田隆雄 (29)  
 学生アルバイトへの疑問 川村幸次郎 (8)  
 研究者としての高校教師 松本守 (10)  
 五歳とことば 渋谷計二 (12)  
 デパートの数学 広島幸正 (23)  
 新潟大地震に遭遇して 宮村堅弥 (1)  
 「共学制度の再検討」に反論する 稲荷富士松 (14)  
 「ございます」批判 志田信男 (15)  
 楽しい学校づくり 横田英男 (24)  
 けあがり 糟谷奨 (25)  
 O君への手紙 佐藤満洋 (26)  
 サイレンの音色をかえよ 矢田貞吉 (26)  
 ロマンとムードの教師に 志田俊 (27)  
 実教歌壇 宮柊二選 (7)  
 実教俳壇 石田波郷選 (28)

## 第16巻第12号：1964年12月1日

(愛媛大学附属図書館)

- 現行地理B教科書内容の不統一について  
 山口忠 (1)  
 現代っ子を伸ばす進路指導 横田弘之 (8)  
 青年期の諸問題 山田隆夫 (30)  
 テレビ・映画にあらわれた文学作品の読書指導

- 石崎俊夫 (12)  
 男女共学制を支持する 唐木健作 (16)  
 農家後継者問題 須藤万治 (16)  
 漢字に弱い生徒 佐藤貢 (18)  
 しつけ 大石忠良 (22)  
 先生という呼称の魔力 森田義三 (23)  
 バラと富豪 山浦篤 (23)  
 正しかった進路指導 高野鶴雄 (25)  
 ダイビング 柳原吉次 (26)  
 学園余録 田島善弘 (27)  
 庭と主題 秋野大樹 (28)  
 美しい女教師 林一美 (29)  
 ずるいぞS君 寺尾輝尚 (11)  
 カルデラのほとり 小林高寿 (21)  
 教科書談義 水谷三郎 (14)  
 実教歌壇 宮柊二選 (7)  
 実教俳壇 石田波郷選 (20)

## 第17巻第1号：1967年1月1日

(愛媛大学附属図書館)

- 教師哀歎賦 鞍山正人 (1)  
 経営における「人」の認識 岩田正彦 (6)  
 学力とテレビ視聴 吉羽一夫 (18)  
 世田谷ボロ市の歴史地理 星陵野人 (28)  
 直哉の生活の下部構造の一端について



	藤井了諦 (10)	保育学習上の問題点	松村龍雄 (36)
イチョウについて	金子敏之 (12)	私の考える「家庭一般」学習	和田典子 (38)
みちのくの車窓より	江部忠夫 (14)		
天職	高木白 (22)	第 17 巻第 4 号：1965 年 4 月 1 日	
ひとこと	XYZ 生 (23)		(愛媛大学附属図書館)
これを如何せん	橋彦六 (24)	高校生の長髪と丸刈り	池田竜一 (1)
運動会の仮装行列	奥山隆夫 (25)	ある日の HR より	檜森成晃 (6)
現代高校生三題	渡辺正 (27)	「読み・書き・そろばん」のうち書きとそろばん	
教科書談義	水谷三郎 (16)	について	鈴木旅太郎 (8)
実教歌壇	宮柊二 (5)	ショートホームルームの活用	小柳津五男 (10)
実教俳壇	石田波郷 (21)	Business Worker と商業倫理	小田博夫 (14)
		高校教材としての時事英語のみ方	松本守 (21)
第 17 巻第 2 号：1965 年 2 月 1 日		落第について	山下昌治 (16)
(愛媛大学附属図書館)		大学略称小話	伴一幸 (17)
高校生と家庭生活	鈴木英吉 (1)	海外教育視察団に参加して	上田貞治 (18)
研究か授業法か	能勢佐十郎 (10)	授業中の廊下を歩く	篠原靖 (19)
教え子	宗像康夫 (11)	実教歌壇	宮柊二選 (13)
「O 君への手紙」で思うこと	渋谷幸紀 (13)	実教俳壇	石田波郷選 (20)
教科書談義	水谷三郎 (8)	国語科特集	
実教歌壇	宮柊二選 (7)	漢文教育私見	宇野精一 (22)
実教俳壇	石田波郷選 (12)	文章の読解指導についてのこころみ	
英米の違い	梶木隆一 (1)		山田昭全 (25)
高等学校における英語と米語の取扱いについて		の・ので・のに	岡村和江 (29)
	小倉兼秋 (4)	西鶴の破格文法について	宮地裕 (31)
時事英語の指導	安田哲夫 (8)	小さな蛇	長野誉一 (33)
アメリカの高等学校について	橋本宏 (11)		
度忘れ	西島正 (14)	第 17 巻第 5 号：1965 年 5 月 1 日	
音韻面よりみた英語のことわざ	大西進 (17)		(愛媛大学附属図書館)
第 17 巻第 3 号：1965 年 3 月 1 日		青少年非行化の対策意見	向平充至 (1)
(愛媛大学附属図書館)		文章の読解指導についてのこころみ	山田昭全 (8)
能研テストに思う	畑迫正行 (1)	戦後日本の歩みと家庭教育の緊要性	鳥谷正亮 (6)
ある体験的教師論	沢田利夫 (4)	西行の「たはぶれ歌」管見	鶴巻千城 (12)
「父兄会改造」後日談	八村伸一 (10)	複雑怪義	阿部祖海 (16)
マスコミの威力	山崎一雄 (16)	実教歌壇	宮柊二選 (5)
学校新聞の壁	K・T 生 (18)	実教俳壇	石田波郷選 (15)
現代に生きる古典	大和信行 (18)	数学科特集	
クラブ顧問の位置	西山民雄 (20)	数学の文章	福原満洲雄 (1)
偶感	高波信 (21)	台湾の印象	井上正雄 (4)
印象に残る授業	黒田寿郎 (22)	微分方程式という数学	斉藤利弥 (10)
手	鶴田耕作 (23)	誤答雑感	公田蔵 (13)
教科書談義	水谷三郎 (14)	SMSG のプログラムについて	松原誠 (17)
実教歌壇	宮柊二選 (9)		
実教俳壇	石田波郷選 (13)	第 17 巻第 6 号：1967 年 6 月 1 日	
家庭科特集			(愛媛大学附属図書館)
「家庭一般」学習におけるすじの通しかた		文章の読解指導についてのこころみ	山田昭全 (1)
	金原ちゑ子 (24)	学校格差というもの	富田清 (7)
家庭科教育の今昔	氏家寿子 (28)	実教歌壇	宮柊二選 (5)
被服材料雑録	内田豊作 (33)	実教俳壇	石田波郷選 (6)
		理科特集	

対談—生物と化学	白井俊明・井上清恒 (1)	父親失格	相原健助 (17)
霧吹き%的原理	今井功 (12)	青少年教育をどうする	酒井俊雄 (19)
一般教育の物理学	野上茂吉郎 (16)	文章の読解指導についてのこゝろみ	山田昭全 (1)
化学教育の問題点	野村祐次郎 (19)	鞍作鳥か鞍部止利か	直木孝次郎 (20)
地かく運動の原因をさぐる方向	山下昇 (22)	衆議院議員の定数増加について	山崎芳夫 (22)
地学教育への提言とその実践について	柳沢一郎 (25)	教科書談義	水谷三郎 (10)
		実教歌壇	宮柊二選 (12)
忍法の科学性	静岡県藤枝西高等学校生物部 (29)	実教俳壇	石田波郷選 (13)

## 第17巻第7号：1965年7月1日

(愛媛大学附属図書館)

高校生の友情	富永慶一 (1)
文章の読解指導についてのこゝろみ	山田昭全 (7)
歌のこゝろ	飯尾和夫 (11)
教師の四季	森田公司 (14)
生徒指導の問題点	大塚正文 (16)
実教歌壇	宮柊二選 (18)
実教俳壇	石田波郷選 (19)
社会科特集	
日本経済と東アジア	小野義彦 (20)
内陸国ラオスの海への出口	朝倉隆太郎 (26)
東南アジアの諸民族と文化	伊東清司 (32)
太平洋戦争と東アジア	藤原彰 (38)

## 第17巻第8号：1965年8月1日

(愛媛大学附属図書館)

夜間定時制生徒の悩みの調査	藤井清 (1)
平易な中国史への招待	村上洋 (6)
答案から拾い出した誤字当て字を見て	奥山隆夫 (10)
平野水	小林高寿 (16)
農村の嫁ききんに訴える	海野邦彦 (17)
わら屋根の弁	島田匡妥 (18)
おおらかな勉強法	山本彬 (20)
文章の読解指導についてのこゝろみ	山田昭全 (22)
近世初期の日本と東南アジア	原田伴彦 (26)
衆議院議員の定数増加について	山崎芳夫 (30)
高等学校(本科)卒業後の状況	(29)
教科書談義	水谷三郎 (12)
実教歌壇	宮柊二選 (14)
実教俳壇	石田波郷選 (15)

## 第17巻第9号：1965年9月1日

(愛媛大学附属図書館)

ホームルームの運営	児玉輝之 (26)
モニター雑感	水沢稔 (30)
平易な中国史への招待	村上洋 (5)
ソ連の新学期	伊藤博美 (14)
車をもった教師のつぶやき	旅太郎 (16)

## 第17巻第10号：1965年10月1日

(愛媛大学附属図書館)

人間を成長させるもの	糟谷奨 (1)
飛騨木曾川国定公園の顔	小林高寿 (6)
落第生の紹介	森芳一 (25)
罰と指導	篠原靖 (12)
理科教育と原子力	吉羽一夫 (14)
酒と食欲と苦勞と	志田俊 (16)
浄化の闘い二年	矢田貞吉 (17)
書道美	金子敏之 (17)
がらんど	渡辺正 (18)
自主性の温床	橋彦六 (19)
頭髪問題に学ぶ	中野忠 (21)
南ヨーロッパの旅	横田弘之 (27)
実教歌壇	宮柊二選 (11)
実教俳壇	石田波郷選 (26)

## 第17巻第11号：1965年11月1日

(愛媛大学附属図書館)

学級文化の創造	杉山広三 (1)
飛騨木曾川国定公園の顔	小林高寿 (20)
設問による授業展開	松島英明 (12)
友情について	石川裕 (8)
「倫社」と「商品」の周辺	桜井薫 (10)
農業高校の女生徒	石川寿雄 (16)
Sという男	岩坪巖 (17)
坊主問答	伊東典郎 (18)
はずかしさ	林一美 (19)
壁	高橋健 (25)
南ヨーロッパの旅	横田弘之 (26)
実教歌壇	宮柊二選 (7)
実教俳壇	石田波郷選 (15)

## 第17巻第12号：1965年12月1日

(愛媛大学附属図書館)

生徒指導あれこれ	斎藤敏雄 (1)
設問による授業展開	松島英明 (8)
平易な中国史への招待	村上洋 (12)
現代国語の方法	鈴木醇爾 (16)
期待さるべき学校図書館のビジョン	獅子原正 (20)

時計とブローチ	中村貞吉 (21)	南ヨーロッパの旅	横田弘之 (27)
容姿端麗にして	江部忠夫 (22)	実教歌壇	宮柊二選 (7)
私の研究ノートから	島谷正亮 (22)	実教俳壇	石田波郷選 (26)
「平野水」補遺	小林高寿 (24)		
祝電披露	菊島晴夫 (25)	訂正：前報の目次集における第 12 巻第 10 号の「西村	
バス待ち数学	井川治男 (11)	■」は「西村恵」の誤り	

(まるやま つよし 本学非常勤講師)

(おだか すすむ 本学准教授)

